

さようなら原発! 栃木アクション2023

第10回 栃木アクション

会場: 宇都宮城址公園 — 11月18日(土)

開催!



★参加者へのお願い

今年はシュプレヒコールをしますが、発熱等体調の悪い方は参加の見合せをお願いします。
なお、新型コロナの感染状況によっては、シュプレヒコールの取り止め等予定の変更があり得ます。

プログラム

12:20 プレコンサート

13:00 開始・あいさつ

お話 満田夏花さん

14:00 パレードスタート

15:30 終了予定

メインスピーカー 満田 夏花 (みつた かなな) さん プロフィール

<経歴> 国際環境NGO FoE Japan理事、事務局長。原子力市民委員会座長代理
1967年東京都東久留米市生まれ。東京大学教養学部卒。

(財)地球・人間環境フォーラム主任研究員を経て、2009年よりFoE Japan委託研究員として森林問題、国際金融と開発問題に取り組み。

3.11原発震災以降は、20mSv基準撤回、避難の権利確立、被災者・避難者支援、脱原発・持続可能なエネルギー政策の実現に向けた各種活動に従事。
2017年4月より現職。FoE Japan<認定NPO法人>にて脱原発と福島支援、開発金融と環境を担当。

著書に『グローバルCSR調達 — サプライチェーンマネジメントと企業の社会的責任』(共著、日科技連出版社、2006年)、『福島と生きる: 国際NGOと市民運動の新たな挑戦』(共著、新評論、2012年)、『「原発事故子ども・被災者支援法 避難の権利」』(共著、合同出版、2014年)など。



さようなら原発!

イラスト: いわむらかずおみ

主催: さようなら原発! 栃木アクション

事務局: 宇都宮市一条4-5-11 大木一俊法律事務所
TEL.028-636-0596 FAX.637-4886 e-mail:ohki@soleil.ocn.ne.jp

未来をしばる原発はいらない!

これまでの政権は、福島第一原発事故を教訓に、原発依存度をできる限り低減するとしていました。ところが、岸田政権は、気候変動対策そしてロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー危機を理由に原発回帰へと大転換をしました。

原子力発電は、もはや安価なエネルギーとは言えず、生命にとって危険極まりない存在である上、被曝労働の犠牲の上に成り立っていることや使用済み燃料等放射性廃棄物の処理を長期にわたり子孫に回すもので、倫理的にも許されず、即刻廃棄されるべきです。

「もし、2025年に原発が新設されたらどうか想像して欲しい」(大島堅一龍谷大学教授の講演録より引用)。

完成が2040年、その後60年稼働とすることで2100年に運転終了。30年間で廃炉作業をして、そこから放射性廃棄物を処分することになる。今これを許したら22世紀、23世紀の未来を縛ることになってしまう。

そうしないために、一緒に「原発はいらない!」「さようなら原発!」と声を上げましょう。

会場：宇都宮城址公園

宇都宮市本丸町 旭日1丁目
(宇都宮市役所東側)

●パレードコース案内 (2.2km)

城址公園→宇都宮市役所前→中央通り(シンボルロード)→本町交差点→東電前→宮の橋(解散)

